

サンフレンズだより

No.36 2007.3.22
 発行：社会福祉法人 サンフレンズ
 編集：法人本部 事務局
 〒167-0023
 杉並区上井草3-33-10
 03-3394-9833

2007年度 事業計画・予算決定

社会福祉法人サンフレンズの2007年度事業計画案と予算案は、3月22日に開催された評議員会を経て理事会で決定しました。

事業計画は、2007年度に法人がすすめようとしている事業の考え方、方向を示し、予算は、事業計画の達成に必要な収入・支出を見積り、計画的、効率的に事業を運営していくために定めるものです。

紙面に制約があるため、事業計画の重点目標の概要と予算の総括をお知らせいたします。

事業計画

法人全体で取り組む重点目標

2005年度から計画準備してきた善福寺三丁目特別養護老人ホーム「サンフレンズ善福寺」(入居30人、ショートステイ4人、全室個室、ユニットスタイル)を2007年8月に開設します。

今年度は、前年度に将来構想具体化検討委員会を中心に、法人の理念の具体化と将来構想のさらなる具体化のために、「新しいサンフレンズを考えるプロジェクト」の各プロジェクトチームが検討を重ねてきた結果を事業計画に組み込みます。

また、前年度の当法人の社会的信頼を損なう個人情報紛失事故や上井草園出火(ボヤ)事故を教訓に危機管理体制を強化します。

中・長期目標となる地域戦略、事業規模の拡大等は検討事項として別の項目にし、事業計画に掲げました。検討会を立ち上げ、地域のニーズ把握に基づいた特色あるサービスを提案をしていきます。

1. 新規事業の創設および事業拡大

(1) 特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺の開設・運営

2006年9月に工事着工した特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺は本年5月に竣工し、8月に開設を予定しています。

「個」を尊重した個別ケア、プライバシーに配慮した全室個室のユニットスタイルは杉並区で初めてであり、杉並区民の期待は高く、当法人としてもその期待に応えるべく取り組みます。

(2) 新規事業および事業拡大

[検討事項]

友愛介護センターの拠点の拡大

2007年9月までに、杉並区西地域の拠点作りの可否を決定します。

地域マップ作成

将来構想具体化検討委員会からは地域戦略として、サンフレンズの強さと弱さを探るための地域マップの作成が挙げられました。2009年、2012

年の介護保険制度見直しに向けて、ビジネスエリア、新規事業、既存サービス事業の増設、併合、閉鎖等地域のニーズを明確に捉えながら、地域ケアの展開を検討します。地域マップの検討は、利用者、家族、ボランティア、地域等の協働作業としていきます。

2. 経営改革と運営基盤の整備・強化

将来構想具体化検討委員会と事務改善・改革プロジェクトからは職員の労働・雇用条件について提議されました。管理職の兼務や超過勤務を減らしていくこと、有給休暇の取得を最優先します。

(1) 管理職の兼務の廃止（リーダーシップが発揮できる環境づくり）

管理職の兼務体制による業務過多のため、管理職がリーダーシップを十分に発揮できておらず、結果的に職員のモチベーションが上がらない、業務改善が進まない現状があります。今年度は統括所長の兼務の廃止に向けて、所長補佐職を設け、統括所長としての役割を果たせる環境をつくります。介護報酬の切り下げ等厳しい経営を迫られるなか、経営管理、人材育成、リスクマネージメントの責任を遂行します。

[検討事項]

施設・事業所のマネジメント体制の見直し

所長の兼務・その他の兼務についての見直しを始め、組織体制や人員の適正配置を検討します。各会議、各委員会の関係や予算・運営の決定システム等、民主的な事業運営と権限の分散化のしくみを検討します。

(2) 超過勤務と有給休暇

職員が心身ともに健康で、働きやすい環境は利用者への質の良いサービスに繋がります。前年度に引き続き、労働環境の改善に取り組みます。今年度は、定期的に労働時間の管理把握をし、超過勤務に至る原因の解明とその具体的対応策を講じます。有給休暇取得についても、職場内で数値目標化し、取得率向上に努めます。

(3) 個人情報保護対策

前年度に個人情報保護対策委員会にて個人情報保護策の検討を重ねてきました。個人情報を取り扱う現場職員の視点で、個人情報保護策の指針を作成しました。個人情報保護の意識を継続し、高めていきます。

(4) 防災管理

老朽化した設備関係の総点検をし、早めの修理、修繕と新規購入を計画的に行います。全職員、委託業者、地域を巻き込んだ、より実践的な防災訓練を行い、防災意識を高めます。

(5) メンタルサポート

利用者の心身状態の低下に伴い、職員のストレスによる休職や退職が毎年あります。管理職がメンタルサポートの研修を受け、職場内で早めにストレス状況をキャッチし、相談しやすい環境を整えていきます。

(6) 人材確保

社会的な介護職員の人手不足があります。法人としてより積極的・具体的な人材確保策を講じます。人材は一人ひとりの職員を大切にしていく意味で「人財」とし、「人財の確保・育成」をしていきます。大学・学校等の教員との共同研究や学校への職員講師派遣等により緊密な関係を作っていきます。実習生に対しては、教員との意見交換

を密にしながら、より個別の実習指導をしていきます。社会福祉施設で将来働きたいと思ってもらうことと当法人の人財になってもらうように取り組みます。柔軟な雇用形態により、団塊世代やシルバー世代も含め、多様な人材を発掘していきます。

[検討事項]

ケア道場の開設
地域福祉の役割と現職員の質の向上、人材確保を目的にホームヘルパー、介護福祉士、サンフレンズサポーター（仮称）養成のための「ケア道場」を2008年開設に向けて、準備・検討開始します。

3. 地域に開かれた法人をめざして

(1) ボランティアコーディネーター創設

将来構想具体化検討委員会からは「ボランティアを重視した地域に開かれたケア」が提議されました。法人の設立経緯においても、ボランティアの多大な協力により成り立っている法人です。かねてから要望がありながら、実施できていなかったボランティアコーディネーターを創設します。各事業所とのボランティア担当とも連絡を密にしながら、快く継続的にボランティアしていただける環境を作ります。ボランティア講座等の開催により、地域とのネットワークも広げていきます。

4. サービスの質の向上

(1) 業務の標準化

第三者評価を受審した各ふれあいの家事業所では改善事項として業務の標準化、マニュアル化が挙げられました。利用者・家族からの苦情・要望も毎年繰り返される内容が多く、マニュアル化により防げる内容が多くあります。定期的連絡会において、法人全事業所の協働により作成します。

5. 職員の資質の向上

(1) モチベーションの上がるやる気の出る 研修参加・講座

事務改善・改革プロジェクトからは法人の理念に添った研修が提議されました。法人の理念や運営方針を踏まえて事業を展開するには、利用者や家族の生活を支援する視点を持ち、地域の中で果たすべき役割について、職員自ら考え実行する力を養っていく必要があります。今年度は、こうした視点での研修計画に基づいて「一般職員経年研修」、「職員別研修」、「職層別研修」、「職種別研修」、「学習会」を実施します。外部（地域、大学、学校等）のスーパーバイザーの依頼や職場内のスーパーバイザーの養成をします。

(2) 報告・発表会の実施

研修参加者から提出された研修報告や、事業運営や経営に関する最新情報、業務改善等の報告・発表会を年1回実施します。

2007年度事業計画・予算書の全文は、特別養護老人ホーム上井草園および和田・和泉・松ノ木・永福ふれあいの家に備えてあります。いつでもご自由に閲覧できます。

予 算

1. 収 入

(単位:千円)

大区 分科目	中区 分科目	小区分科目	2007年度予算	2006年度予算	差異
経常活動による収入					
1.		介護福祉施設介護料収入	315,934	230,883	85,051
	1.	介護報酬収入(施設)	287,062	209,751	77,311
	2.	利用者負担金収入(施設)	28,872	21,132	7,740
		1. 利用者負担金収入(施設)一般	28,872	21,132	7,740
		2. 利用者負担金収入(施設)公費	0	0	0
	3.	基本食事サービス料収入	0	0	0
2.		居宅介護料収入	720,154	678,375	41,779
	1.	介護報酬収入(居宅)	649,611	611,950	37,661
	2.	利用者負担金収入(居宅)	70,543	66,425	4,118
		1. 利用者負担金収入(居宅)一般	70,543	66,425	4,118
		2. 利用者負担金収入(居宅)公費	0	0	0
3.		居宅介護支援介護料収入	53,537	51,398	2,139
	1.	居宅介護支援介護料収入	53,537	51,398	2,139
4.		利用者等利用料収入	199,764	159,838	39,926
	1.	介護福祉施設利用料収入	12,537	9,272	3,265
	2.	居宅介護サービス利用料収入	47,630	44,548	3,082
	3.	食費収入	114,187	96,226	17,961
	4.	居住費収入	25,410	9,792	15,618
	5.	その他の利用料収入	0	0	0
5.		その他の事業収入	157,909	151,236	6,673
	1.	補助金収入	5,905	5,905	0
	2.	受託収入	152,004	145,331	6,673
6.		その他の収入	1,000	13,800	-12,800
	1.	その他の収入	0	0	0
	2.	寄付金収入	1,000	13,800	-12,800
	3.	行費参加費収入	0	0	0
7.		受取利息配当金収入	700	700	0
	1.	受取利息配当金収入	700	700	0
8.		雑収入	10,501	10,501	0
	1.	その他の雑収入	0	0	0
	2.	職員等給食費収入	8,101	8,101	0
	3.	受入研修費収入	2,400	2,400	0
経常活動による収入計(1)			1,459,499	1,296,731	162,768
施設整備による収入					
1.		設備資金借入金収入	99,200	349,800	-250,600
2.		施設整備等補助金収入	35,956	693,239	-657,283
3.		施設整備等寄付金収入	0	0	0
4.		固定資産売却収入	0	0	0
	1.	器具備品売却収入	0	0	0
	2.	車両運搬具売却収入	0	0	0
施設整備による収入計(2)			135,156	1,043,039	-907,883
財務活動による収入					
1.		長期運営資金借入金収入	0	0	0
2.		投資有価証券売却収入	0	0	0
3.		設備資金借入金元金償還補助収入	0	0	0
4.		設備資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0
5.		長期運営資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0
6.		積立預金取崩収入	1,087	1,087	0
	1.	移行時特別積立預金取崩収入	0	0	0
	2.	その他の積立預金取崩収入	1,087	1,087	0
7.		他会計区分繰入金収入	156	156	0
8.		会計区分外繰入金収入	931	931	0
財務活動による収入計(3)			2,174	2,174	0
当期末収入合計((4)=(1)+(2)+(3))			1,596,829	2,341,944	-745,115

2. 支出

		(単位:千円)			
大区 分科 目	中区 分科 目	小区分科目	2007年度予算	2006年度予算	差異
経常活動による支出					
1. 人件費支出			862,562	719,415	143,147
	1.	役員報酬	742	742	0
	2.	職員俸給	346,893	270,622	76,271
	3.	職員諸手当	136,870	113,049	23,821
	4.	非常勤職員給与	283,175	273,590	9,585
	6.	退職共済掛金	17,248	10,925	6,323
	7.	法定福利費	77,634	50,487	27,147
2. 経費支出			494,103	463,476	30,627
(直接介護支出)			215,296	190,152	25,144
	1.	給食材料費	107,941	97,402	10,539
	2.	介護用品費	7,012	6,037	975
	3.	教養娯楽費	11,288	11,127	161
	4.	医薬品費	742	717	25
	5.	日用品費	2,961	2,711	250
	6.	被服費	7,164	6,122	1,042
	7.	消耗器具備品費	8,349	7,870	479
	8.	保健衛生費	4,430	4,184	246
	9.	車両費	8,092	7,068	1,024
	10.	光熱水費	56,226	45,823	10,403
	11.	協力員活動費	1,091	1,091	0
(一般管理支出)			278,807	273,324	5,483
	1.	福利厚生費	3,255	3,160	95
	2.	旅費交通費	2,602	2,468	134
	3.	研修費	6,072	5,850	222
	4.	通信運搬費	6,428	6,174	254
	5.	事務消耗品費	20,846	8,110	12,736
	6.	印刷製本費	3,203	3,110	93
	7.	広報費	2,715	2,676	39
	8.	会議費	708	680	28
	9.	修繕費	27,950	32,757	-4,807
	10.	保守料	6,654	5,933	721
	11.	賃借料	16,432	16,182	250
	12.	保険料	9,008	8,666	342
	13.	渉外費	1,110	1,100	10
	14.	諸会費	1,545	1,495	50
	15.	租税公課	225	2,295	-2,070
	16.	委託費	161,644	160,061	1,583
	17.	徴収不能額	0	0	0
	18.	雑費	8,410	12,607	-4,197
3. 借入金利息支出			2,655	7,164	-4,509
	1.	借入金利息支出	2,655	7,164	-4,509
4. 利用者負担軽減額			200	200	0
	1.	利用者負担軽減額	200	200	0
経常活動による支出計(5)			1,359,520	1,190,255	169,265
施設整備等による支出					
1. 固定資産取得支出			428,896	1,476,889	-1,047,993
	1.	土地取得支出	0	794,989	-794,989
	2.	建物取得支出	90,552	377,769	-287,217
	3.	器具及び備品取得支出	42,513	7,300	35,213
	4.	車両運搬具取得支出	3,200	12,800	-9,600
	5.	その他の固定資産取得支出	282,681	284,031	-1,350
	6.	借入金元金償還金支出	9,950	0	9,950
施設整備等による支出計(6)			428,896	1,476,889	-1,047,993
財務活動による支出					
1. 設備資金借入金元金償還金支出			0	0	0
2. 長期運営資金借入金元金償還金支出			0	0	0
3. 他会計区分繰入金支出			156	156	0
4. 会計区分外繰入金支出			931	931	0
財務活動による支出計(7)			1,087	1,087	0
経常活動資金収支差額((8)=(1)-(5))			99,979	106,476	-6,497
施設整備等資金収支差額((9)=(2)-(6))			-293,740	-433,850	140,110
財務活動資金収支差額((10)=(3)-(7))			1,087	1,087	0
予備費(11)			2,704	2,772	-68
当期資金収支差額合計((12)=(8)+(9)+(10)-(11))			-195,378	-329,059	133,681
前期末支払資金残高(13)			648,178	651,990	-3,812
当期末支払資金残高(14)=(12)+(13))			452,800	322,931	129,869

サンフレンズ善福寺 開設に向けて

建物の工事や入居者の募集が進む中、開設に向けての準備室を設置しました。開設準備室長が抱負を語ります。

生きる気持ちを支える介護を

サンフレンズ善福寺開設準備室
室長 石坂誠

サンフレンズ善福寺は、個室・ユニット型という新しいタイプの特養になります。形は新しくても、最も大切にしなければならないのは、三大介護といわれる、「食事」「入浴」「排泄」であることに変わりはありません。

開設準備室では、これから発表される「サンフレンズ善福寺開設宣言」を受けて、個別ケアの指針や具体的な介護方法について議論

していく予定です。その際、「正しい姿勢から摂る食事」「オムツに頼らない排泄ケア」「機械浴に頼らない入浴」をどう実現していくかが、議論の焦点となると思われます。

大友理事長が、前号で言われたように、サンフレンズ善福寺の新たなモデルと水準を法人内の全サービスに生かしていくことが求められています。具体的なケアの中味をどう作り上げていくかが問われています。介護を単なる業務にするのではなく、生きる気持ちを支え、生きる力を引き出す自立支援型の介護へと転換していくために、第一歩を踏み出していきたいと思っています。

建築現場から...

写真は、3月上旬の工事の様子です。窓が入り、コンクリートの壁が表れて、部屋の雰囲気イメージできる状態になってきました。浴槽やトイレなどはこれから入るそうです。



これから屋根を架ける作業に入るそうです。運よく撮影することができました。

各ユニットには歓談や趣味活動に使用するリビングがあります。

ファミリー駅伝3位入賞!!



2月25日(日)に杉並名物第5回ファミリー駅伝が開催されました。この駅伝は、チームごとに申告した予想タイムにどれだけ近づけることができるかを競うものです。

蚕糸の森公園と、隣接する杉並第十小学校を舞台に熱戦が繰り広げられ、サンフレンズから出場した7チームのうち1チームが、見事、3位入賞を果たしました。喜びの声をお届けします。

サンフレンズ3号チーム、表彰台上がって最高の笑顔!

写真左から松本大輔(和田ふれあいの家)、生田義典(上井草園)、若林研太(上井草ふれあいの家)、石毛栄一(永福ふれあいの家)

参加した41チーム中、見事3位入賞を果たすことができました!チームワークの勝利です。(松本)

事前に数回の練習を重ねてきました。入賞は思いもしなかったことですがとても嬉しいです。(若林)

たかが1.2kmとたかをくくっていましたが、走ってみるととても大変でした。自分の体力の無さを痛感させられました。チームの皆さんのおかげで3位になることができました。とても楽しかったです。チームの皆さんお疲れ様でした。応援してくれた方々、ありがとうございました。(生田)

ジョギングの目標をファミリー駅伝に定め、練習をしてきました。おかげで5キロ走れるようになりました。(石毛)

走りはもちろん、衣装もこだわりました!



普段は顔を合わせることの少ない職員の交流にもなりました



❀ 法人への寄付金を賜り厚く御礼を申し上げます。❀

(2007年1月1日から2007年2月28日までにご寄付をいただいた順に掲載)
立教女学院GFS様・秋池渡様・濱田雄二郎様・坂田祐二様・本吉國雄様・匿名希望1名様

ボランティア紹介 第22回

「今年も元気に遊ばしましょう」
藤井 幸雄さん

利用者の皆さんの笑顔で、今年1年も楽しく送ってまいりたいと思います。

永福ふれあいの家とのつながりは、5年前の春、ボランティアの小林さんから、「永福ふれあいの家」へ見学に来たらと、声を掛けて頂いたのが始まりでした。3か月くらいたった頃、利用者さんから、書道をしたいとの希望から、木曜日の午前中に書道クラブ、午後は利用者さん向けの歌詞書きを始めました。クラブ希望者が25～26人に増え、歌詞書きも210枚ほどになりましたので、書道クラブを午前と午後に分けることにしました。その頃からボランティアの杉江さんに貴重な時間を割いて頂き、大変助かっています。そのうち「火曜日も」との話で、午前中だけお引き受けすることになり、現在まで続いています。



2年前の秋は、私の健康管理の不足から、少々体調を崩し、利用者さん、杉江さん、小林さん等々の皆さんに大変ご迷惑をおかけしましたが、徐々に回復し、火・木曜日を軸にして、1週間がまわるようになりました。

今年も「お書き初め」を含め、書道を通じ元気で、楽しい、笑顔の時間を過ごしてまいりたいと思います。

❀
サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話:3394-9833

FAX:3394-9834

担当:星

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E mail アドレス

Kamiigusa@3friends.or.jp